

看護学部の3つのポリシー

○ディプロマ・ポリシー

看護学部看護学科では、建学の精神である「人間性の涵養と実学の重視」を教育の基本理念とし、卒業に必要な単位数 124 単位を修得し、以下に掲げる能力を身に付けた学生に、学位を授与します。

- (1) 人に寄り添う高い倫理観
生命の尊厳や基本的人権を擁護できる高い倫理観を持つことができる。
- (2) 幅広い教養に基づく柔軟な思考力
幅広い教養を育むために、学問を探究し批判的思考力を持つことができる。
- (3) 看護学を生涯学び続ける姿勢
看護の現象・事象に対応できる高度な専門的知識・技術を高める姿勢を持つことができる。
- (4) 看護専門職としての高度な実践力
専門職としての確かな判断を行い、質の高い看護を提供する能力を持つことができる。
- (5) 看護の視点から広く社会貢献する態度
グローバルな社会における看護の役割を広い視野で捉え、社会に貢献する態度を持つことができる。

○カリキュラム・ポリシー

看護学部看護学科では、教育課程の編成の主要概念として、看護・人間・健康・社会・発達・環境の6つを掲げています。そして、【人間と看護】という総合的視点にたって、看護学の専門的知識と技術を深く学んだ人材を育成するための支援をおこないます。同時に、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、教育課程において以下のことを実施しています。

- (1) 教育課程の編成
 - ・教育課程を【基礎・教養科目】と【専門教育科目】からカリキュラムを構築しています。【基礎・教養科目】では、広い視野を持ち、多元的に物事を考え、新しい状況下でも的確に対応していく力のある学士を育成するために、幅広い知識を身につけていけるよう支援します。
 - ・専門の現場における応用力や課題解決力を養うため、【専門教育科目】を〈看護を学ぶための基礎〉〈看護実践の基本〉〈看護実践の展開・応用〉〈看護学の統合〉〈保健師関連科目〉といった科目群に分け、それぞれから卒業に必要な単位を修得するようにしています。
 - ・初年次教育を重視し、1年生の必修科目に「基礎ゼミナールⅠ（スタディスキル）」、「基礎ゼミナールⅡ（キャリアデザイン）」を開講し、年間を通じて学習方法や、グループワークで自分の考えを主張する能力の修得を目指しています。

- ・看護学科の主要な6つの概念である、看護・人間・健康・社会・発達・環境とそれらの関係性にもとづき、学修する内容の順序性、関係性を踏まえて教科目を配置しています。
- ・自ら学び、考え、様々な状況に対応できる力を身につけられるよう、各科目では主体的な学びを推進しています。

(2) 学修方法・学修過程

- ・学習時間を確保するため、年間の履修登録単位数の上限を49単位と定めています。また成績が優秀な学生には、追加での履修登録を認めています。
- ・全学的に、アクティブラーニングによる授業に取り組んでいます。これにより、学生が能動的な学習の仕方を身に付けます。
- ・保健師国家試験受験資格を取得したい学生は、2年次終了時にGPAや面談による選抜により、3年次以降、保健師関連科目の履修を認められます。

(3) 成績・学修成果の評価

- ・各科目の評価は、「定期試験（中間・期末）」「小テスト・授業内レポート」「宿題・授業外レポート」「授業態度・授業参加度」「プレゼンテーション」「グループワーク」「演習」「実習」の8つの評価項目のうち複数を組み合わせて、100点満点で総合評価します。
- ・4年生の必修科目の中で、看護の総合的な知識・技術の確認・評価を行います。

○アドミッション・ポリシー

看護学部看護学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す内容を達成するために、以下に示す学生像を求め、入試選抜・入学前教育を実施します。

(1) 求める学生像

- ・人々とのかかわりに関心を持ち、その人らしさを感じることができる人
- ・自分の考えを持つと同時に他者の意見も柔軟に取り入れる人
- ・新しいことにチャレンジし、自らの課題を見つけることができる人
- ・地域と世界の重要性を、ローカルな視点とグローバルな思考で地域に主体的に参加していくことで認識することができる人
- ・人々の健康に関心がある人

(2) 入試選抜について

看護学部看護学科では、求める学生像受け入れのため、教科の試験や高等学校からの推薦、総合型選抜および大学入学共通テストを利用した試験等、多様な入試選抜を実施します。

(3) 入学前教育について

大学教育を受けるのに必要な基礎的能力の向上のため、看護学部看護学科は入学予定者に課題を与え、その提出を求めます。また、課題に対して入学後にプレースメントテストを行い、必要に応じて補習科目の履修を勧めます。